

海外派遣留学プログラム報告書

(報告期間：2022/08/13 ～2022/10/01)

1. 勉学の状況

生徒と教師の距離が近く、質問がしやすいと感じました。また、授業中の質問や受け答えが活発に起こっていて新鮮に感じました。

・ Advanced Summer Course in English

私は渡航が遅れてしまい二週間のうち一週間分しか参加できませんでしたが、環境問題や時事問題をディベート形式で討論する授業でした。

・ Education in Finland

フィンランドの教育を複数の教員によるプレゼンテーションを聞いて学ぶ授業です。現在までにフィンランドの幼児教育、障がい者教育についての授業を受けました。最終課題として自国とフィンランドの教育の違いをプレゼンテーション形式で発表します。非常に興味深い授業です。

・ Teacher' s professional ethics and moral education

教育者の知るべきモラルや倫理教育についての授業です。3つの授業とセミナーを受講し、自らの指定したトピックについてのプレゼンを最終課題として発表します。私は「教員の教化（教員の考えを生徒に浸透させてしまうこと）を防ぐには」という内容でプレゼンを作成することを決めました。現在は参考文献を閲覧している状況です。

・ Special Education Learning Environments

実際の学校に赴いて学校でどのように教育が行われているかを勉強する授業です。現在学校へのアポイントメントをとっているところですが、実際の教育現場を体験できるということで、とても期待しています。

2. 生活の状況

8月は並の暖かさでしたが、9月に入ってから日本の秋、冬に相当する寒さになってきたと感じています。寮にはサウナがあり、その付近には湖があるなど、快適な環境が整っています。学生連盟である ESN が様々なイベントを画策してくれ、フィンランドの伝統料理であるシナモンロールを作成するイベントやベリーつみへ赴くイベントに参加しました。

左：ベリーの様子



右：寮のサウナ



海外派遣留学プログラム報告書

(報告期間：2022/10/01 ～2023/2/5)

1. 勉学の状況

・ Special Education Learning Environments

実際に学校に赴いて、どのような教育が行われているのかを視察する授業です。私の伺った高校では、普通学級と特別学級が同じ建物に存在しており、インクルーシブ教育が導入されています。それぞれのニーズに合わせて別の学校に通ったりすることもあるので、時間割に関しては比較的融通が利きます。また、音や映像に対して敏感な生徒のためにパーテーションのようなものが用意されていました。1クラスは生徒8人に教師一人ですが、アシスタントの先生が4から5人参加して一人一人に対応できるように工夫されていました。フィンランドでは学校見学や授業参観が部外者にも広く開放されており、こういった視察が行いやすい点も興味深い点だと思いました。



・ Developing Effective Learners

教員、生徒双方にとって効果的な学習方法とは何か、そのための状況をどのように創造できるかについて学ぶ授業です。自分の経験に基づいて、自分の受けた授業のどこが効果的だったのかなどを分析、それぞれの国と比較するなど、留学生ならではの意見交換ができる良い機会でした。

• Language in Learning Environments

自分達でグループを組み、定めたテーマに沿って学びを深める授業です。私のグループでは outdoor school にテーマを定めました。スイスやドイツでは就学前教育、また小学校1, 2年生までを完全な野外で教育する形態が普及してきているとのことで、フィンランドでの普及やどのような利益があるのかについて研究します。日本にいる間は聞いたことのない形態だったので、非常に興味深く感じました。

2. 生活の状況

冬の寒さを覚悟していましたが、今年の冬は例年に比べて暖かいそうです。とはいえ-10℃以下になることも珍しくなく、防寒着はこちらで中古のものを購入しました。

フィンランド人のクリスマスパーティーに招待していただき、現地の様子を体験しました。学生団体の企画する旅行なども冬に集中しており、トナカイそりやオーロラなどのアクティビティも楽しめました。

